



1人は万人のために 万人は1人のために



第633号

発行日 毎月20日
定価一部 15円

※会員の購読料は
会費の中に含む

(一社) 佐賀県労働者福祉協議会 佐賀市神野東四丁目7番3号 TEL 0952(32) 1243
ホームページアドレス: <https://sagarofuku.net/>

発行人 草場 義樹
編集人 待鳥 洋文

佐賀県労働者福祉協議会「第64回通常総会」開催

佐賀県労福協は5月19日(金)、「四季彩ホテル 千代田館」において「第64回通常総会」を開催しました。

総会は、役員、代議員、特別代議員など46名の出席のもと、井手副理事長の挨拶で開会し、議長に運輸労連の小川龍二代議員を選出し議事が進められました。

冒頭に草場理事長が主催者を代表して挨拶を行いました。その中で、今通常国会では、「次元の異なる少子化対策(案)」として、「給付型奨学金の利用年収上限の引き上げ」など、様々な案があげられており、財源も含めて6月の骨太方針に向けて議論がされます。

また、危機は少子化だけではなく、2004年に年金制度が改正された、いわゆる「100年安心プラン」にも危機が生じています。この年金制度は「将来推計人口」をもとに作られており、現役世代の数が減ると年金額も減ります。よって、年金制度改革で定められた、「現役世代の平均賃金の50%以上」の支給が困難となります。来年は年金制度見直しの年に当たりますが、「現役世代の平均賃金の50%以上」の支給がギリギリの状況です。万が一、50%を下回ることがあれば、「100年安心プラン」を抜本的に変えなければなりませんので、絶対に政治も厚生労働省もやりたくありません。最終的には政治家ではなく、私たち国民へツケが回ってくるということをしっかりと認識しておかなければなりません。

最後に、少子化対策や年金制度は、私たちの生活に直結した待たなしの重大な課題であり、佐賀県労福協は日々の「福祉運動」を通じて、また「労働運動」と連携をはかりながら政治的影響も強めていかなければならないと述べられました。

議事については、2022年度活動経過報告・決算報告・会計監査報告、2023年度活動方針(案)・同予算(案)、定款の変更、理事及び監事の選任などについて提案し、全ての議案を全会一致で承認され、労働者福祉運動の更なる強化・発展を目指すことを確認しました。

最後に、近藤副理事長から総会参加者へお礼の言葉を述べ「第64回通常総会」を無事終了しました。



■新役員体制	理事長	草場 義樹(連合佐賀)
	副理事長	井手 雅彦(九州労働金庫佐賀県本部)・原口 郁哉(佐賀県労働者共済生活協同組合)
		近藤 三千代(UAゼンセン佐賀県支部)
	専務理事	待鳥 洋文(九州労働金庫佐賀県本部)
	常務理事	高祖 和彦(連合佐賀)
	理事	坂井 雅彦(自治労佐賀県本部)・新 浩二(佐賀県教職員組合)
		千布 浩一郎(電力総連)・江口 博美(自動車総連)
		吉田 真也(JP労組佐賀連絡協議会)・吉原 昭治郎(電機佐賀地域協議会)
		前田 清人(佐賀県生活協同組合連合会)
	監事	田中 雅子(九州労働金庫佐賀県本部)・野中 豊明(佐賀県労働者共済生活協同組合)
■退任役員	理事	永石 亀(自治労佐賀県本部)
	監事	大森 充(電機佐賀地域協議会)

違い馬頭

2019年のデータになるが、世界保健機関(WHO)の資料による死因が興味深い。所得水準で内容が変わり、中高程度所得国のトップは「虚血性心疾患」(心筋梗塞など)、第2位は「脳卒中」、第3位「慢性閉塞性肺疾患」(肺気腫など)、第4位は「肺ガン」、第5位は「下気道感染」(ウイルス・細菌性による肺気腫など)となっている。

この資料は2000年との対比されているが、その時の特徴点として肺がんがこの間に411千人増えていると記載されている。

翻って人口動態統計月報年計(2019年)による日本だけの死因を見ると悪性新生物<腫瘍>で27.3%の方が亡くなっており、世界の死因トップと大きく相違している。

このデータで考えると、肺ガンと喫煙の関係は本当に正しい

のか、またどうして日本だけが異常にガン死亡率が高いのか、私の好奇心をくすぐってしまう。WHO非感染性疾患予防部門の責任者ダグラス・ベッチャー氏によると2000年以降、所得の高い国ほど喫煙者の減少スピードが速かったと述べている。

穿った見方をすると、先進国では何らかの大気汚染で肺ガンが増えているが、それを喫煙が原因であるかのように見せかけている。また日本だけがガン死亡率が高いことはあまり報道されないが、発がん性物質に対する規制が甘いからとつい考えてしまう。

このような考え方は一般的には陰謀論となるが、世界報道自由度ランキング68位(前年度71位)の日本のニュースを信用するのもハイリスクである。

真実が見えにくい世界を生き抜くためには、限られた情報の中で自分自身の考えで選択していくしかない。(H・M)

無料年金相談会開始のお知らせ

佐賀県労福協は県内勤務者とそのご家族の生活支援を目的に、2023年6月より社会保険労務士による無料年金相談会を開始しています。年金制度は複雑で、ひとそれぞれに内容が異なることから、年金に関することを社会保険労務士より親切・丁寧に説明します。ぜひこの機会にご相談ください。

- 相談事例**
- ・年金請求書の書き方や添付書類を教えてください。
 - ・日本年金機構から送られてきた書類の見方を教えてください。
 - ・60歳以降も働くと年金はカットされる？
 - ・配偶者が年金を受給すると、本人の年金に影響がある？
 - ・雇用保険の基本手当や高年齢雇用継続給付金と年金の関係は？

○社会保険労務士による無料年金相談会開催日程（要予約）

第2回 2023年7月13日（木）午後4時30分～6時30分

* 2023年8月以降も開催します。

予約はこちらから



URL

<https://sagarofuku.net/pages/99/>

佐賀県労福協「介護職員初任者研修」開催のご案内

佐賀県労福協は「働く者の社会連帯・共助システム作り」の一環として、介護職員の養成講座を開催しています。介護職員初任者研修は、従来のホームヘルパー2級から移行された厚生労働省認定の公的な資格で、訪問介護に限らず、施設等で介護員として働くうえで介護の基礎知識・スキルを証明するための入門的な研修です。

2023年度については、下記の要領で開催します。

期間 2023年 **7月28日（金）～**
10月20日（金）まで

対象者 全ての研修に出席できる方
・県内にお住まいの方、または県内にお勤めの方

定員 30名

受講料 35,500円（税込み）
（テキスト代を含みます）

通学会場

演習：佐賀女子短期大学（佐賀市本庄町）
講義：メートプラザ佐賀（佐賀市兵庫北）
見学：佐賀県在宅生活サポートセンター（佐賀市神野東）

研修概要

通信（課題・動画視聴）+通学（16日間）+試験

申込み方法 申込書にて受け付けます

郵送、FAX、Eメールのいずれかで労福協宛てにお送りください。

（Eメールの場合は、申込書を添付してお送りください）

Eメール：rofuku.kaigo-saga@xsj.biglobe.ne.jp

※申込書は労福協ホームページからダウンロード
できます。

[佐賀県労福協](#)

申込締切日

2023年 **7月14日（金）** 必着

申込み・問合せ先

一般社団法人 **佐賀県労働者福祉協議会**
ライフサポートセンター さが

〒840-0804 佐賀市神野東四丁目7-3

TEL：0952-32-1243

FAX：0952-32-1224

無料法律相談会日程

労福協では県内勤労者とその家族の生活支援を目的に、弁護士による無料法律相談会を毎月1回日曜日に開催しています。7月以降の日程は記載の通りとなりますので、多重債務、相続、奨学金、生活全般の困りごとなど法律問題でお困りの方は、一人で悩まずぜひこの機会にご相談ください。

0120-931-536

弁護士による無料法律相談会開催日程（要予約）

第128回 2023年7月 9日（日）午後1時～4時

第129回 2023年8月20日（日）午後1時～4時

* 2023年9月以降も日曜日に開催します。

九州ろうきんからののお知らせ

九州ろうきんは「ピンクリボン運動」を応援しています。

ピンクリボン運動「ピンクフルデー2023」で啓発活動をおこないました!

九州ろうきんは、2023年5月20日(土)・21日(日)に福岡PayPayドームで開催されたピンクリボン運動「ピンクフルデー2023」の趣旨に賛同し、継続した支援・協賛を行っています。5月20日(土)には「認定NPO法人ハッピーマンマ」のスタッフの皆さんとともに乳がん撲滅に向け、健診の受診や早期発見のための啓発活動を行いました。当日は満員御礼、大勢の野球観戦者が行き交う中での啓発活動となり、募金活動においては「ピンクフルデー2023」を通じて女性だけでなく以前よりも多くの男性にも共感いただき、110,450円もの寄付を募ることができました。募金活動終了後、認定NPO法人ハッピーマンマの田中理事に贈呈し、田中理事より「ろうきんの呼びかけにより多くの方々から募金していただきました。乳がん検診も2日間で376人の方が受診され、多くの方に乳がんについて知っていただき、健診を受けるという行動に移していただけたのではないかと思います。引き続き、乳がん啓発活動と乳がん患者さんと家族のサポートを行って参りたいと思います。今後ともよろしく申し上げます」と感謝のメッセージを頂きました。この寄付金は、全額ハッピーマンマの啓発活動(ピンクリボン運動)に活用されます。

また、九州ろうきんでは、女性を応援する活動として、2011年10月より九州ろうきんのATMでのお引出し・お預入れのご利用(他金融機関のカードによる利用も含む)に対して、1回につき1円をピンクリボン運動への支援として活用する取り組みを行っています。2022年度の支援総額は3,872,191円となり、その内総額240万円を九州でピンクリボン活動を実施しているNPO法人4団体へ寄付しました。寄付後の残金は、各県で開催されるピンクリボンイベントへの協賛やピンクリボン運動に関する広告・宣伝等に活用しています。

ATMを利用していただくことが支援に繋がりますので、気軽な社会貢献活動として九州ろうきんのATMをご利用いただきますようお願い申し上げます。

九州ろうきんのATMの所在地・稼働時間については、九州ろうきんホームページをご確認ください。

九州ろうきんホームページTOP(PC/スマホ)
<https://kyusyu-rokin.com/>



「ピンクリボン運動」とは

「ピンクリボン運動」とは、乳がんの正しい知識を広く早期発見・早期治療の大切さを啓発する世界的な活動のことです。日本では乳がんに対する関心がまだまだ低く、日本女性の約9人に1人が乳がんを経験するといわれています。また、マンモグラフィー検診率も低いため、死亡者も年々増加傾向にあります。乳がんは、早期に発見し治療すれば高い確率で治癒する、決して怖くない病気です。九州ろうきんは、ピンクリボン運動の趣旨に賛同し、乳がん検診の推進活動を応援しています。

ピンクフルデーとは

2006年から野球観戦のためにヤフオクドーム(現:福岡PayPayドーム)へ来場した女性ファンのイベント「女子高生デー」としてスタートし、2014年からは世代を問わず女性ファンをターゲットとして「タカガール・デー」へ発展しました。今年度はテーマカラーのピンクやイベント内容はそのままに、世代や性別を問わず、全員が「楽しい」や「感動」が満ちる1日になってほしいという想いが込められた新名称「ピンクフルデー」として開催されることとなりました。当日は、選手・審判のピンクリボンユニホーム着用、各塁ベースやネクストバッタースサークルにも「ピンクリボン」のマークがあしらわれる等、球場内がピンクに装飾されます。野球ファンをはじめ、来場者の一人でも多くの方にピンクリボンについて考えていただき、定期的な健診の受診や早期発見へのきっかけとなることを願い、取り組み、実施されています。

九州ろうきんは「ピンクリボン運動」を応援しています。



「ハートフルサポート」
 あなたののために。
 あなたの大切なひとのために。



九州ろうきんのATMでお引出し・お預入れいただくと、1回につき1円を九州ろうきんがピンクリボン運動に寄付いたします。※他の金融機関のキャッシュカードによるご利用も対象となります。

こくみん共済 coopからのお知らせ

4123X001



2023年 佐賀県労働者共済生活協同組合 総代選挙に関する公告

総代選挙規約に基づいて、2023年の総代選挙を下記のとおり実施します。

- 1. 総代定数と選挙区名および各選挙区の定数
本年の総代定数は、104名とします。(選挙区名および各選挙区の定数はつぎのとおりとする)

選挙区	定数	選挙区	定数	選挙区	定数
佐賀地区	30名	小城・多久地区	10名	杵島・武雄地区	15名
鳥栖・三養基地区	10名	唐津・東松浦地区	15名	伊万里地区	7名
神埼地区	5名	藤津・鹿島地区	7名	有田地区	5名

- 2. 候補者登録(立候補の届け出)の受付期間と受付方法(場所)
立候補受付期間 2023年5月20日 9時 ~ 2023年6月23日 17時
受付方法 当該選挙区の選挙管理人
- 3. 選挙権および被選挙権
2022年6月1日現在の組合員名簿に記載されたこの組合の役職員を除く組合員
- 4. 総代の任期 1年
- 5. 投票日および開票 2023年7月3日同日開票(選挙区ごとに立候補者数が定数以内の場合は投票を省略する)



お問い合わせ先	【選挙管理委員会事務局】 〒840-0054 佐賀市水ヶ江2丁目2-19 佐賀県労働者共済生活協同組合内 事務局員:羽田野 TEL 0952-41-1331
----------------	---

通常総代会・組合員代表者会議開催のお知らせ

【開催場所】 ホテル マリタール創世(佐賀市) 【開催日時】 2023年7月28日(金) 14時30分より
 佐賀県労働者共済生活協同組合 第64回通常総代会 / こくみん共済coop佐賀推進本部 第6回組合員代表者会議

こくみん共済 coop佐賀推進本部 産別代表者会議の開催

2023年5月12日(金) ホテル マリタール創世において産別代表者会議が開催された。



佐賀労済60周年という節目の年にこくみん共済 coopとして、環境の変化と多様なニーズへの対応に向けてデジタル技術を活用した「公式アプリ」のリリースならびに「こくみん Lifeサポート」を展開していくことを報告いたしました。

今後、「こくみん共済 coop」と組合員の距離をこのツールでどれだけ縮めることができるのかは、役職員の努力のみならず、産別代表者ならびに協力団体の皆さまのご支援とご協力があることが叶うものであることをお伝えし、引き続きのご支援をお願いしました。

こくみん共済誕生40周年ありがとうキャンペーンのお知らせ

保障に入るのが初めてで分からない
災害に備えて家の保障を見直したい

車の補償の更新が近いから掛金・保険料を抑えたい

今の保障は今の生活に合ってる?
最近の保障ってどんなのがあるの?

こんなお悩みや不安を
共済ショップで相談しませんか?
キャンペーン実施中!!
2023年6月1日(水)~7月31日(木)まで

今なら プレゼント! ご来店・訪問相談で

オリジナル大判ウェットティッシュ
※いづれか1つになります。

ランドリーネット
※シャツは付属しません。

涼感枕カバー
※枕本体は付属しません。

ランチトートバック

さらさら プレゼント! ご来店・訪問相談による新規ご加入で

(注意事項) ●プレゼントは、1世帯につきいづれか1つになります。また、ご希望の品をお渡しできない場合があります。●自賠責共済の加入は限ります。●一部訪問できないエリアがあります(訪問相談)。●写真はすべてイメージです。

たすけあいの輪をむすぶ

「こくみん共済coop」は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協組合員となることで各種共済をご利用いただけます。